

令和8年度  
(2026年度)

## 総合政策部の取り組み

### <部長の方針・考え方>

本市の持続的な発展を目指し、第3期実行計画の着実な推進とともに、社会情勢の変化を的確に捉え、将来を見据えた施策展開、また、「ひらかた万博」のレガシーである「共創」の機運をさらに高め、様々な主体によるまちづくりの仕組みを構築していきます。

こうした施策や取り組みの推進にあたっては、その基盤となる財政の健全性の維持に向け、行財政運営の最適化を推進していく必要があることから、部内各課がそれぞれの役割のもと、より機能的で実効性の高い連携や連動を行いながら下記の取り組みを進めていきます。

- ①市民ニーズや社会課題に即した効果的な施策と将来のまちの発展につながる未来に向けた施策の展開
- ②既存の枠に捉われない徹底した行財政改革と公共施設マネジメントの取り組み
- ③未来志向かつ将来にわたって健全な財政運営
- ④選ばれるまちへつながる定住促進と人口誘導の取り組み
- ⑤DXの推進、スマート自治体の実現に向けたICT施策の展開
- ⑥「共創」による様々な主体が参画するまちづくりの推進
- ⑦部内における連携・連動による組織力の強化
- ⑧丁寧で誠実なコミュニケーションによる円滑な庁内調整

### <部の構成>

企画課  
政策推進課  
財政課  
行革推進課  
DX推進課

### <主な担当事務>

- (1)市の政策、予算の編成、財政に関する事務
- (2)共創など民間との連携の推進に関する事務
- (3)行政評価・行財政改革に関する事務
- (4)DX推進に関する事務

### 重点的な取り組み：行財政運営の最適化

#### 【施策シート：29-02、31-01】

人口減少や少子高齢化の進展など、社会情勢が大きく変化する中においても、本市が広く選ばれるまちとなり、将来にわたって持続的に発展していくため、市民ニーズや社会課題を的確に捉え、将来を見据えた施策を展開するとともに、徹底した行財政改革や行政のDX推進などの行財政運営の最適化に取り組みます。

#### 【第3期実行計画等に掲げる取り組みの推進】

第5次総合計画基本計画を推進するための第3期実行計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）、行財政改革プラン2024、第2次情報化計画情報化基本計画（第3期取組版）について、目標の達成に向けた着実な推進を図ります。

#### 【持続可能なまちづくりに向けた戦略的な人口誘導施策の取り組み】

人口減少の中においても持続可能なまちづくりを実現するため、子育て世帯の人口誘導に向けた施策について、組織横断的な検討のもと戦略的に取り組みます。

また、限られた財源を効果的に活用する観点から、既存の人口の誘導施策の見直し・改善を一体的に推進します。

### 【行財政改革プラン2024の推進】

財源確保や業務効率化の推進など行財政改革プラン2024に基づく取り組みを着実に推進します。その推進にあたっては、社会状況や市民ニーズの変化を適切に捉え、費用対効果の測定及びロジックモデルを用いた検証などを通じて、PDCAサイクルにより、施策や事業の効果的な見直し、最適化につながるよう取り組みます。

### 【持続可能な財政運営】

人口減少が進む中でも財政の健全性を維持しつつ、持続可能な発展を実現するため、子育て世帯をターゲットとした施策のさらなる充実と枚方市駅周辺再整備事業の一層の推進という2つの最重点施策をはじめ、様々な課題解決に向けた各施策の実施に向け、長期的な視点で財政運営に取り組みます。

また、社会保障関連経費の増加やエネルギー価格・物価高騰など、本市財政を取り巻く状況が年々厳しさを増す中においても、限られた財源を効率的・効果的に配分する観点で予算編成を行うとともに、減債基金を活用した市債の繰上償還により公債費を抑制し、将来負担の軽減に取り組むことで、社会経済情勢の変化に柔軟に対応できるより強固な財政基盤の確立を目指します。

### 【デジタル技術を活用したスマート自治体の推進】

グループウェアの更新に合わせ、Googleのサービスを活用することにより、全職員の生成AI、Web会議、チャットの利用が可能になるなど、庁内業務の更なる効率化を進めます。また、行政手続きのオンライン化については、引き続き事務フローの見直しなど業務効率化の観点からの改善や、より多くの市民にご利用いただけるよう周知啓発や利便性の向上を図ります。

ノーコード・ローコードツールについては、固定資産税家屋調査業務などの業務での活用を開始し、更なる業務の効率化を図るとともに、本稼働後の課題等の精査や効果検証を行いながら、さらなる適用業務の拡充に向けて取り組みを進めます。

また、ノーコード・ローコードツールは比較的容易に業務アプリケーションの構築が可能であることから、引き続き職員のツールに関する知識や技術、業務改善・改革に関する手法等の習得を進め、実践的なデジタルスキルの向上を図ります。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
子育て世帯の転入超過 （目標値、実績値は年単位で集計）	500 世帯	363 世帯
「行財政改革プラン2024」 の改革課題の達成率	28%	7%

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
健全化判断比率	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.7%以下 将来負担比率：なし	実質赤字比率：なし 連結実質赤字比率：なし 実質公債費比率：1.9% 将来負担比率：なし  ※実質公債費比率は7月に確定するため、令和6年度実績を記載。
電子申請対応手続き数	260 手続き	232 手続き
ノーコード・ローコードツールを活用して業務改善を行うことができたシステム数	20 件	7 件

### 重点的な取り組み：多様な主体との共創のさらなる推進

#### 【施策シート：31-01】

大阪・関西万博を契機に地域経済活性化やまちへの愛着向上に取り組んだ「ひらかた万博」では、地域の事業者や団体との対話を通じ、「共創」による多くの取り組みが創出されました。

こうした共創の機運をさらに高め、行政だけでなく企業、学校、地域団体など多様な主体と連携しながら、新しい価値や解決策を生み出していくための「共創推進プラットフォーム」を新たに構築し、様々な地域課題の解決や市民のQOL向上に資する、多様な主体による取り組みを広げていきます。

また、同プラットフォームでは、これまで運用してきた「公民連携プラットフォーム」による民間企業との連携機能も継承し、先進的な技術及び専門的な知識と地域の活力を掛け合わせた相乗的な効果を生み出すことにより、社会課題の解決や持続可能なまちづくりにつなげていきます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
共創事業の実施件数 （当該年度に着手したもの）	60 件	20 件 （旧来の公民連携プラットフォームにおける実施件数）
共創による社会課題解決に向けた実証実験等の件数	10 件	4 件 （旧来の公民連携プラットフォームにおける実施件数）

## 重点的な取り組み：公共施設マネジメントの推進、旧中宮北小学校跡地活用事業

### 【施策シート：31—03】

今後の市民サービスの維持・向上につなげるためにも将来の人口規模や財政規模に応じた施設総量としていく必要があることから、施設の「複合化」「集約化」などを適切に進めるための施設分類別方針や施設評価手法の構築に加え、将来の公共施設の適正配置の考え方を示す将来ビジョンを含めた「枚方市公共施設マネジメント推進計画」の改訂に取り組みます。

高陵小学校と中宮北小学校の統合に伴う旧中宮北小学校（現禁野小学校）跡地の活用については、本年度に新校舎へ移転となることから速やかな活用を図るため、校舎解体撤去等の調査、設計を行うとともに、今後も整備を進めるにあたって地域の方への丁寧な説明や意見交換等を行いながら具体化を図っていきます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
市民一人当たりの延床面積	1.9 m <sup>2</sup>	1.97 m <sup>2</sup>

## 重点的な取り組み：情報システムの標準化・共通化の推進

### 【施策シート：29—02】

情報システムの標準化・共通化の推進については、令和7年度までに住基・印鑑システムや国保システムなど10件のシステムで標準システムへの移行が完了しました。令和7年度中に移行が困難なため、国に特定移行支援システムとして申請を行い、システム移行期間の延期となった税、後期高齢などのシステムについては、令和8年度も引き続き標準準拠システムへの移行や本稼働後の業務運用が円滑に行えるよう取り組みを進めます。

## 重点的な取り組み：次期総合計画等の策定に向けた取り組みの推進

令和9年度（2027年度）末をもって計画終期を迎える第5次枚方市総合計画基本計画及び第3期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、次期計画の策定に向けて取り組みます。

策定にあたっては、社会情勢や地域課題、市民ニーズなどを踏まえるとともに、将来的に顕在化する課題等を想定したバックカスティングの考えも取り入れ、市民や事業者など多様な主体の参画のもと、枚方市の未来のために取り組むべき施策などを見定めながら改定を行います。

令和8年度の主な取り組みとして、現行の第5次枚方市総合計画の総括、市民意識調査や将来人口推計などによる現状分析や将来展望の整理、市民や事業者等への意見聴取を目的としたアンケートやワークショップを実施します。